

# 九州建設専門工事業 ニュース

題字は日高名誉会長筆

発行所 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイト薬院506号 電話092(406)6776番 発行人 杉山 秀彦

## 新会長に宮村博良氏

### 第22回 定期総会開く 標準労務費の実行に期待

九州建専連



宮村 会長

建設業専門団体九州地区連合会は7月14日、第22回(令和7年度)定期総会を福岡市博多区の八幡閣で開催した。任期満了に伴う役員改選で新会長に宮村博良氏(宮村鉄筋工業、新副会長に木下頭氏(静岡塗装組)、中村隆元氏(中村工業)が選任された。総会には全14団体の56人が参加。この総会をもって会長を退任した杉山秀彦氏(写真)は冒頭「建設業法等の改正により、標準労務費が今年12月に策定されることになっており、業界にとっては処遇改善が大きいチャンスだ。関係者の皆さんと信頼関係の下、力



度事業計画案および収支予算案、役員改選を審議、原案通り承認した。7年度事業計画は、①九州地方整備局との意見交換会および業種別意見交換会、九州各県等との意見交換会、②経営革新支援研修会、③学校キャラバン(出前授業) ④九州

## 新支部長に野間隆之氏

### 全夕協九州・沖繩が第54回総会

(一社)全国タイル業協会九州・沖繩支部(会員数49社)は7月15日、令和7年度(第54回)定期総会(写真)を福岡市博多区の八幡閣において開催した。任期満了に伴う役員改選で新支部長に野間隆之氏(野間タイル工業)を選出した。野間新支部長は「次の3点について取り組みたい。一つ目は若手職人不足の件、二つ目は働き方改革の件、三つ目はタイル工事減少の件だ。今す



野間 支部長

英城支部長および九州・沖繩の会員51人が駆け付けた。来賓あいさつで本部の寺島顧問は「若者には賃金などの処遇改善を進めなければならない。国交省の標準労務費の設定に関して、適正な請負単

に合わせた諸課題の解決に向けて努力してまいりたい」とあいさつ。議長を横山忠則副会長(アオケン)が務め、令和6年度事業報告および収支決算報告、令和7年度事業計画案および収支予算案、役員改選を審議、原案通り承認した。

九州高土工事業連合会(杉山秀彦会長、略称「九高」は7月17日、令和7年度(第59回)通常総会を福岡市博多区の八幡閣で開催した。物故会員への黙祷の後、杉山会長(スギヤマ)は「写真」は、九州管内および沖繩から会員企業が参集したことに感謝の言葉を述べた。また、「高土工」という仕事は建設の中では大変重要な業種となる。型枠大工も鉄筋屋も足場を掛けていな

と福岡の工業高校へ出張講義を予定) ④外壁タイルの剥落防止対策推進 ⑤九州地整と建専連九州との意見交換会(7月14日に実施済)を決定した。本部会長表彰(タイル張り優秀技能者)として、津村和晶氏(北浦タイル)、中島義一朗氏(瀬口タイル)、本田慎太郎氏(タケセン・本田タイル)の3人に賞状と記念品が手渡された。役員改選では、野間支部長のほか副支部長に瀬口裕二氏(瀬口タイル)、日高彰一氏(タケセン)など7人の役員が決定した。

九州ブロックから全国大会に進む5人が参加し、本番で必要となる技術や注意点などを学んだ。



九州ブロックから全国大会に進む5人が参加し、本番で必要となる技術や注意点などを学んだ。

## 出前授業等で専門工事業PR

### 九高が第59回通常総会

役員改選では、発足当初からの発展に尽力した杉山会長、横山副会長、徳永一朗副会長(栄進工業)は退任。会長、副会長が新任となったほか、理事に松本一彦氏(栄進工業)、虎澤昌広氏(日本基礎技術九州支

店)、津上和由氏(津上産業)が就任した。新会長となった宮村氏は「専門工事業団体は各業種の職人の集まりなので、職人の待遇が良くなるよう精いっぱいやらせていただく」と抱負を述べた。

職員へ出前授業などを実施する。九高独自の活動としては①技術・技能、経営に関するもの、②資材・機材および工具類に関する調査・研究、③技能労働者の育成および資格取得に関する協力・援助等を進める。各県の活動状況では、今後の仕事量見直し、検

定試験の実施状況、職人の不足率などが報告された。仕事量は、熊本、福岡では忙しいとする一方で職人への賃金相場が上昇しているため集めるのが大変という。その他の県は落ち着いている、または少ない。技能検定は各県とも予定通りに実施しているが、受験者数が年々減っている傾向という。

## 全国技能大会へ特別訓練

### 日塗装九州ブロック

(一社)日本塗装工業会九州ブロック(木下頭会長)は、7月31日から8月2日の3日間で第28回全国建築塗装技能競技大会に向けた特別訓練を実施し(写真)した。

同大会は、塗装技術・技能レベルの向上と技能の継承を目的に実施しているもの。九州ブロック大会は3月12日に実施し、参加者12人のうち特に優れていた5人が全国大会への出場権を得た。9月に札幌市で開催予定の全国大会に向けて、熊本市東区の熊本県塗装会館で代表選手を対象とする特別訓練を実施した。

訓練の初日は説明などを行い、2日目には決められた課題の訓練、3日目は自由課題の訓練を行った。2日目の訓練では、3枚のキャンパスを決められた色で塗装。指定された範囲を正確に塗る必要があり、塗装範囲の正確性や際の処理、均一性など。

## (政府労災上乗せ補償+普通死亡保障)充実した制度 建団連共済会に入会しましょう!!

【建設業福利厚生制度】記名+無記名式

**(A型)総合共済制度**

1口につき  
月会費**1,100円**で  
労災死亡**930万**  
一般死亡**230万**

(記名者・新規加入満66歳まで)  
(継続加入は70歳まで)

\*『経営事項審査制度』\*  
下請け担保で加点評価

【建設業福利厚生制度】無記名式

**(B型)建設安全共済制度**

1口 月会費**300円**で労災死亡**500万**  
おひとり様3口まで加入でき、労災死亡も**1500万**と安心

ますます充実魅力を増した  
最良の共済制度にぜひ入会を!



安い会費で内容最高!

会員の皆様御紹介よろしくお願ひします。 (お問い合わせ・お申込み)

**建団連共済会事務局** 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイト薬院506号  
TEL 092(406)6776 FAX 092(406)6701

# 新会長に川元末広氏 福鳶が第59回総会開く



川元 会長

福岡県高土工業連合会は9月8日、「第59回(令和7年度)定期総会」を福岡市博多区の八仙閣において開催した。任期満了に伴う役員改選で川元末広氏(尾園建設社長)を新会長に選出した。

川元氏は、前会長(山田泰男氏)の山田建設が7月5日に逝去されたため、冥福を祈り黙とうを捧げた。

## ものづくりの楽しさ子供たちに

### 福岡県タイル煉瓦工業会が総会



福岡県タイル煉瓦工業会(坂上力雄会長、正会員31人・賛助会員7社)は7月28日、「令和7年度定期総会」を写真撮影を福岡市の八仙閣において開催した。次世代を担う子供を対象とした市内小学校でのものづくり体験講座や、福岡技能フェスティバルの「ものづくり体験コーナー」等を実施するなどの今年度事業計画を決定した。

坂上会長は、「皆さんには日ごろより業界発展と円滑な運営に尽力いただき感謝申し上げます。昨

## 福岡会場は44人受講

### 全解工連が基幹技能者講習



今年度の講習は24日から全国7会場で開催しており、福岡会場は44人が受講した。

## 鳶・土工基幹技能者講習開く

日本建設躯体工業連合会(大木勇雄会長)は9月13日、14日の2日間、「登録解体基幹技能者講習」を福岡市博多区の福岡県中小企業振興センターで開催、32人が資格認定を目指し受講した。

受講者は、2日間計600分にあたる講義を聴き、最後に、考査試験に挑んだ。試験は、講義科目ごとの内容全てから四択一で25問出題され、制限時間は60分。合格発表は9月下旬に行われ、講習修了証が交付される。

29日は、谷田将拓氏(佐賀県)と妹尾会長が講師を務め、基幹技能者一般知識、OJT教育等、関係法令、施工・工程管理に関する事項を講義した。

開会あいさつで、大木会長は「鳶・土工という業種は、現場全体をリードする立場であり、中でも登録基幹技能者は、現場全体を運営し、元請けとの調整など重要な役割を担う。今回の講習で最先端の情報を押さえ、資格を取得してほしい」と述べた。

講習では、小松健輔氏(中村工業)、青木信博氏(中村工業)、奈須啓二氏(スギヤマ)、古賀孝憲氏(中村工業)、古閑祥泰氏(中村工業)、中川大輔氏(尾園建設)、毛利雅英氏(尾園建設)、高生加修氏(安井組)、高生和巳氏(安井組)の各講師が工程管理や施工計画、安全管理、関連法規などを解説した。

受講者は熱心な様子で講義に耳を傾け、最後の修了試験に臨んだ。新規試験は4者択一式25問、正誤式25問で、合格

が求められ、工物品質も高いものが要求される。2日間の長丁場となるが講習を通して知見を深め、高度なマネジメント能力の一層の向上を図り、現場の安全にもつながってほしい」とあいさつした。

登録解体基幹技能者は、解体工事における中核的な役割を担う熟達した技能と豊富な知識・経験に加え、現場を効率的にまとめる高度なマネジメント能力に優れた、解体工事における技能者の目標像(上級職長)として活躍が期待されている。

## 建築施工管理 技士資格取得へ

### 全防協九州 沖繩が講習会

(一社)全国防水工事業協会(略称・全防協)九州沖繩支部(津上和田支部長)は13日から9月15日までの3日間、福岡市中央区の同協会会議室で「1級及び2級建築施工管理技術検定直前講習会」を開催した。

同支部の会員会社の社員が遠くは鹿児島などからも駆け付け、1級4人と2級4人が受講した。初日と2日目の午前には2級の1次・2次試験対策を行い、2日目の午後と3日目は1級の2次試験対策を中心に学んだ。

講師を担当した本部の生前の功績で花を添えた。(一社)日本建設躯体工業連合会の大木勇雄会長も駆け付け「本部の理事や副会長を長年務め、業界発展に尽力いただいた。九州の躯体組合でのさらなる活躍を期待していたが残念でならない。ご冥福をお祈りする」と述べた。

故人は、(一社)日本建設躯体工業連合会理事および副会長を22年間、九州建設躯体工業連合会会長を2年間、福岡県高土工業連合会会長を8年間務めるなど、業界発展に尽くした。申込受付締切日は10月15日(水)まで。

## 山田泰男社長お別れの会

### 鳶・土工業界発展に尽力

北九州市で鳶・土工工業を97年営む山田建設の山田泰男前代表取締役が7月5日、肺がんのため65歳で亡くなった。「お別れの会」が26日、北九州市のリーガロイヤルホテル小倉で執り行われ、関係者ら弔問に訪れ別れを惜しんだ。写真撮影を

7月に新社長に就任した二男の山田泰氏は、「先代の父に代わって4代目として会社を継ぐことになった。弊社は昭和5年に創業し97年の歴史を歩んできているが、これまで先人が培ってきた伝統と新しい技術を柔軟

が急激に増えており、高いニーズの資格となっている。去年から2次試験の経験記述の設問方法等が変更されており、出題者が何を求めているかなどを察し臨んでほしい」と述べた。

2級講習では、1次試験対策として「建築学等」、「共通」、「法規」、「施工管理」、「建築施工(躯体仕上げ)」、2次対策として「用語」、「パース」、「法規」、「建築施工」、「経験記述」などを学習したほか、これまで出題された過去問についても分かりやすく説明した。1級(2次試験対策)講習では、「ネットワーク工程表」、「躯体」、「法規」、「経験記述」などテキストも参考にした。講師がポイントについて解説、受講者も真剣に聞き入っていた。

## 行事日程

- ▽10月7日(火)15時(一社)日本型砕石工業協会九州支部「令和7年度秋季研修会」、ホテル日航大分オアシスタワーにて。
- ▽11月29日(土)9時(一社)日本建設躯体工業連合会九州支部「令和7年度秋季研修会」、ホテル日航大分オアシスタワーにて。